



福山通運株式会社
(東証プライム市場 9075)

2027年3月期 第1四半期 決算説明資料

2026年8月6日

■ 堅調な輸送需要による増収増益

連結売上高：108.8%（前年同期比）

営業利益：216.9%（前年同期比）

■ 営業利益率の改善

本業である特積み運送事業において、物量増への対応と輸送効率の改善により、営業利益率が3.3%から**6.6%**へ改善。

■ 2027年3月期業績予想は据え置き

第2四半期開始時点での運賃単価の計画未達および、物量の反動減のリスクを踏まえ、現行予想を維持。

(単位：百万円/%)	2026年3月期 第1四半期	2027年3月期 第1四半期	増減額	前年同期比
売上高	77,454	84,279	6,825	108.8
営業費用	74,906	78,752	3,845	105.1
営業利益 (営業利益率)	2,548 (3.3)	5,527 (6.6)	2,979	216.9
経常利益 (経常利益率)	3,336 (4.3)	6,005 (7.1)	2,668	180.0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,719	4,448	1,729	163.6

売上高

特積みの物量増加、貸切件数の増加、
倉庫稼働率の改善及び国際事業の新規
連結などにより増収

営業費用・営業利益

売上高の増加に加え、4月の組織体制変更
に伴い、コスト管理を強化し、増加傾向に
あるコストの抑制にも取り組み増益
営業利益率は3.3pt改善

経常利益・四半期純利益

営業外損益と特別損益は減少したものの、
営業利益の増加により増益

2027年3月期業績予想は据置

営業利益の上期進捗率は97.6%であるものの、第1四半期で堅調だった物量の反動減リスクなど不透明要素が多い点と、第2四半期開始時点での運賃単価が計画値に届いていない点などを踏まえ、業績予想は据置

セグメント別業績

(単位：百万円/%)	2026年3月期 第1四半期	2027年3月期 第1四半期	増減額	前年同期比
売上高 合計	77,454	84,279	6,825	108.8
運送事業	60,461	64,140	3,679	106.1
貸切事業	6,341	7,231	889	114.0
流通加工事業	5,793	6,229	436	107.5
国際事業	3,043	4,995	1,952	164.2
その他事業	1,814	1,682	△132	92.7

営業利益 合計（利益率）	2,548 (3.3)	5,527 (6.6)	2,979	216.9
運送事業	1,964 (3.2)	4,489 (7.0)	2,524	228.5
貸切事業	506 (8.0)	735 (10.2)	229	145.3
流通加工事業	925 (16.0)	1,072 (17.2)	147	116.0
国際事業	84 (2.8)	224 (4.5)	140	266.5
その他事業	254 (6.7)	233 (6.5)	△20	91.9
調整額	△1,186	△1,228	△41	—

運送事業

重量が前年を大きく上回り（重量+6.1%）、売上高が増加したことにより増益

- ① 中東情勢悪化が及ぼす荷動きへの影響（ナフサ不足を見越した在庫確保や前倒し出荷等）がプラスへ働き、輸送需要が堅調
- ② 原油価格高騰を理由に長距離輸送対応できない運送事業者から当社へのスイッチが増加

貸切事業

スポット案件・既存顧客の取扱件数がともに増加したこと、定期貸切運賃の改定及びパートナー企業とのシステム連携強化による売上拡大が進み増益

流通加工事業

人件費など管理コストの上昇に適応した継続的な単価改定と倉庫稼働率の改善による収益性の向上に取り組み増益

国際事業

タイ・マレーシア間のクロスボーダートラック輸送バランスの適正化や原油価格高騰に伴う価格転嫁に加え、新規連結による事業基盤の強化が市場競争力の向上に繋がり増益

運送収入

※2026年4月～2026年6月営業日数：前年同期比98.8%

* 当社の荷物分類定義
小口貨物：1件1個30kg以下 商業貨物：1件6個121kg以上
商業小口：1件5個120kg以下 重厚長大：1個100kg以上または1件500kg以上

(単位：百万円/%)		2026年3月期 第1四半期	2027年3月期 第1四半期	増減額	前年同期比
分野別運賃	小口貨物	15,080	15,455	375	102.5
	商業小口	12,987	13,638	651	105.0
	商業貨物	12,431	13,436	1,005	108.1
	重厚長大	13,738	15,161	1,423	110.4
	計	54,235	57,690	3,455	106.4
その他の運賃		5,947	6,165	217	103.6
その他運送事業収入		278	285	6	102.4
計		60,461	64,140	3,679	106.1

輸送4要素

(前期比/ 単位：%)	トンキロ単価	個当り単価	Kg当り単価	重量
小口貨物	98.7	100.5	98.4	104.1
商業小口	101.3	101.8	101.4	103.6
商業貨物	101.8	101.8	101.0	107.0
重厚長大	101.4	102.2	101.9	108.3
全体	100.3	101.6	100.3	106.1

(単位： 百万円/%)	2026年3月期 第1四半期	2027年3月期 第1四半期	増減額	前年同期比
営業費用 合計	74,906	78,752	3,845	105.1
人件費 合計	34,605	34,893	288	100.8
人件費	31,438	31,642	203	100.6
外注人件費	3,166	3,251	84	102.7
物件費 合計	26,887	28,388	1,501	105.6
燃料費	3,903	3,811	△92	97.6
備車費	8,405	9,607	1,201	114.3
貸切備車費	4,556	5,070	514	111.3
その他	10,021	9,898	△122	98.8
諸費 合計	8,646	10,766	2,120	124.5
取扱手数料	3,637	4,188	551	115.2
その他	5,008	6,577	1,568	131.3
減価償却費	4,768	4,703	△64	98.6

人件費

ベア及び売上増に伴うインセンティブ増加により人件費が増加
委託単価上昇により外注人件費が増加

物件費

委託単価上昇に加え、輸送力確保に向けて幹線備車費・集配備車費が増加
貸切案件増加に伴い貸切備車費が増加

諸 費

取扱手数料の増加は主に連結範囲の変更に伴うもの
新規連結により国際関係費用が増加（その他の諸費）

減価償却費

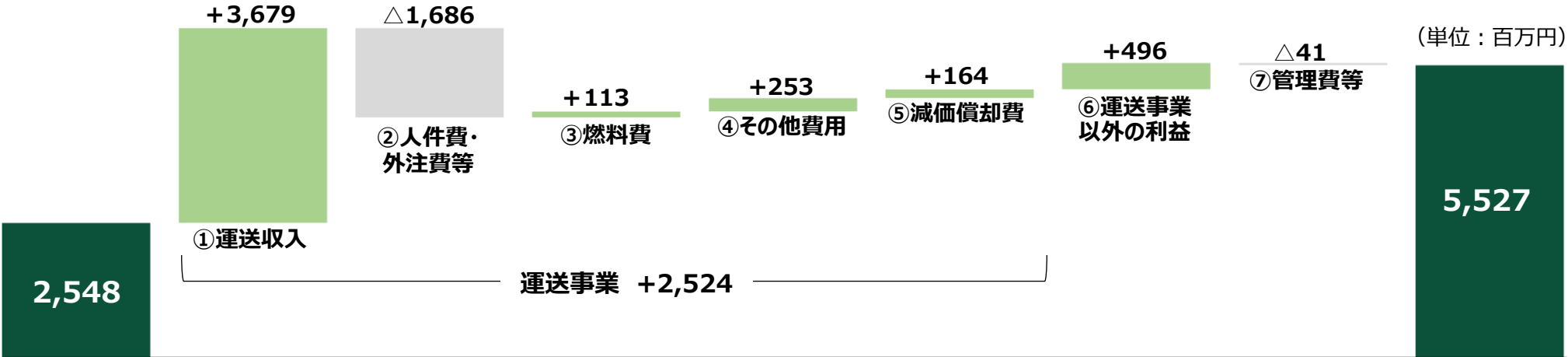
機械装置及び運搬具の償却費が減少

【参考数値】

2026年4月からの連結範囲の変更に伴う影響額（影響を考慮した場合の前年比）
人件費△681百万円（102.9%）、燃料費△144百万円（101.4%）、備車費+506百万円（108.3%）、
その他の物件費△144百万円（100.2%）、取扱手数料+499百万円（101.3%）、その他の諸費△60百万円（132.9%）、
減価償却費△51百万円（99.7%）

営業利益の増減要因

1 Qにおける輸送需要は堅調に推移し、強化してきた輸送力により日当たり重量+7.4%を確保
人件費や外注費などのコスト増は継続したものの、積載効率・車両稼働率など輸送効率が大幅に改善され増益



2025年6月期

2026年6月期

① 運送収入				② 人件費・外注費等増加の影響			
● ネットワーク収入	+6.4%	+3,455	重量106.1% 単価100.3% 稼働日数 98.8%	● 従業員給料ほかの減少	+81	バア、インセンティブ増加	
					(連結範囲変更影響額 +681含む)		
● その他運送収入	+3.6%	+223	運賃改定	● 外注人件費の増加	△85	委託単価の上昇/取扱量増	
				● 備車料の増加	△1,001	委託単価の上昇/取扱量増	
					(連結範囲変更影響額 △506含む)		
⑥ 運送事業以外の利益の増減				● 委託料ほかの増加	△681	委託単価上昇/フェリー代増加	
貸切事業	増益	+229	スポット案件 & 既存顧客 取扱件数増加		(連結範囲変更影響額 △456含む)		
流通加工事業	増益	+147	稼働率向上 & 料金改定	③ 燃料費減少の影響	+113	軽油 1 Q平均単価△0.5%	
国際事業	増益	+140	海外トラック事業効率化 & 新規連結		(連結範囲変更影響額 +144含む)	6月+5.7%	
その他事業	減益	△20	商品販売収入の減少	④ その他費用減少の影響	+253	修繕・備品購入の減少など	
					(連結範囲変更影響額 +160含む)		

主要な営業費用

(単位：百万円/%)			2026年3月期 第1四半期	2027年3月期 第1四半期	増減額	増減率
人	件	費	34,605	34,893	288	0.8
備	車	費	12,962	14,677	1,715	13.2
取	扱	手数料	3,637	4,188	551	15.2
計			51,204	53,760	2,555	5.0
燃	料	油脂費	3,903	3,811	△92	△2.4
修		繕費	2,309	2,199	△109	△4.7
備	消	品費	1,018	957	△61	△6.1
道	路	利用料	2,426	2,496	69	2.9
借	地	借家料	1,364	1,462	98	7.2
商		品代	909	810	△99	△11.0
リ	ー	入料ほか	290	320	29	10.3
減	価	償却費	4,768	4,703	△64	△1.4
合 計			68,195	70,521	2,326	3.4

【参考数値】 2026年4月からの連結範囲の変更に伴う影響額（通期数値） ※変動が大きい項目のみ記載

人件費 △681百万円、 備車費 +437百万円、 取扱手数料 +499百万円
燃料費 △144百万円、 修繕費 △61百万円、 道路利用料 △43百万円、 減価償却費 △51百万円

主要経費詳細

(単位：百万円/%)					2026年3月期 第1四半期	2027年3月期 第1四半期	増減額	増減率
人件費	人件費				31,438	31,642	203	0.6
	外注人件費				3,166	3,251	84	2.7
人件費計					34,605	34,893	288	0.8
外注費	備車費	幹線備車費			1,354	2,066	711	52.6
		集配備車費			2,034	2,278	243	12.0
		フレートライナー料			2,178	2,240	61	2.8
		貸切備車費			4,556	5,070	514	11.3
		その他			2,837	3,022	184	6.5
		備車費計			12,962	14,677	1,715	13.2
	取扱手数料	業務委託料			1,725	1,625	△100	△5.8
		一般荷扱料			1,246	1,322	75	6.1
		中継費			665	1,241	576	86.6
		取扱手数料計			3,637	4,188	551	15.2
外注費計					16,599	18,866	2,267	13.7
合計					51,204	53,760	2,555	5.0

(単位：百万円)	2026年3月期 第1四半期	2027年3月期 第1四半期	増減額	増減要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,579	9,044	△535	税金等調整前四半期純利益 +2,019百万円 法人税等の支払額の増加 △878百万円 未払消費税等の増減額の減少 △2,454百万円
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,412	△3,445	966	固定資産取得による支出の減少 +3,157 投資有価証券売却による収入の減少 △1,870
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,325	△1,566	2,758	自己株式の取得による支出の減少 +8,650 長期借入金の増加額の減少 △6,023
現金及び現金同等物に係る換算差額	△31	18	50	
現金及び現金同等物の増減額	810	4,050	3,240	
現金及び現金同等物の期首残高	29,626	30,391	764	
現金及び現金同等物の期末残高	30,437	34,441	4,004	

設備投資	2027年3月期第1四半期		2027年3月期計画	
拠 点 投 資	1,116百万円		3,308百万円	
(開設拠点)	横浜西営業所 (2026年4月) 会津営業所 (2026年5月)		横浜西営業所 (リニューアル) 会津営業所 (拠点集約)	
車 両 更 新	61台	580百万円	771台	5,499百万円
シ ス テ ム 関 連 ほ か	1,341百万円		7,183百万円	
合 計	3,037百万円		15,992百万円	

第1四半期の取組状況

- ① 商業貨物、重厚長大の重量の増加が、高単価の小口貨物、商業小口を上回る状況

(前年同期比/単位：%)		重量
高単価	小口貨物	104.1
	商業小口	103.6
低単価	商業貨物	107.0
	重厚長大	108.3
全体		106.1

- ② 契約料金見直し、適正料金体系への改定で取引上位荷主中心に単価改善

取引上位荷主の単価改定率(%)

荷主分類	2026年4月	2026年5月	2026年6月
1.低単価	101.6	101.7	102.4
2.重厚長大	100.9	101.1	101.8
3.長距離	100.7	100.1	101.7
4.長期未改定	100.1	100.4	100.9
5.高単価	103.2	103.3	103.5
合計	101.0	101.2	101.9



- 本来は低単価貨物の増加による貨物ミックスの変化で、全体の単価が下落する状況であるが、**継続的な単価改定の効果で全体の単価は維持・改善**
- 今後、商業貨物や重厚長大の特需が収まれば**平均単価はさらに上昇し目標を達成する想定**

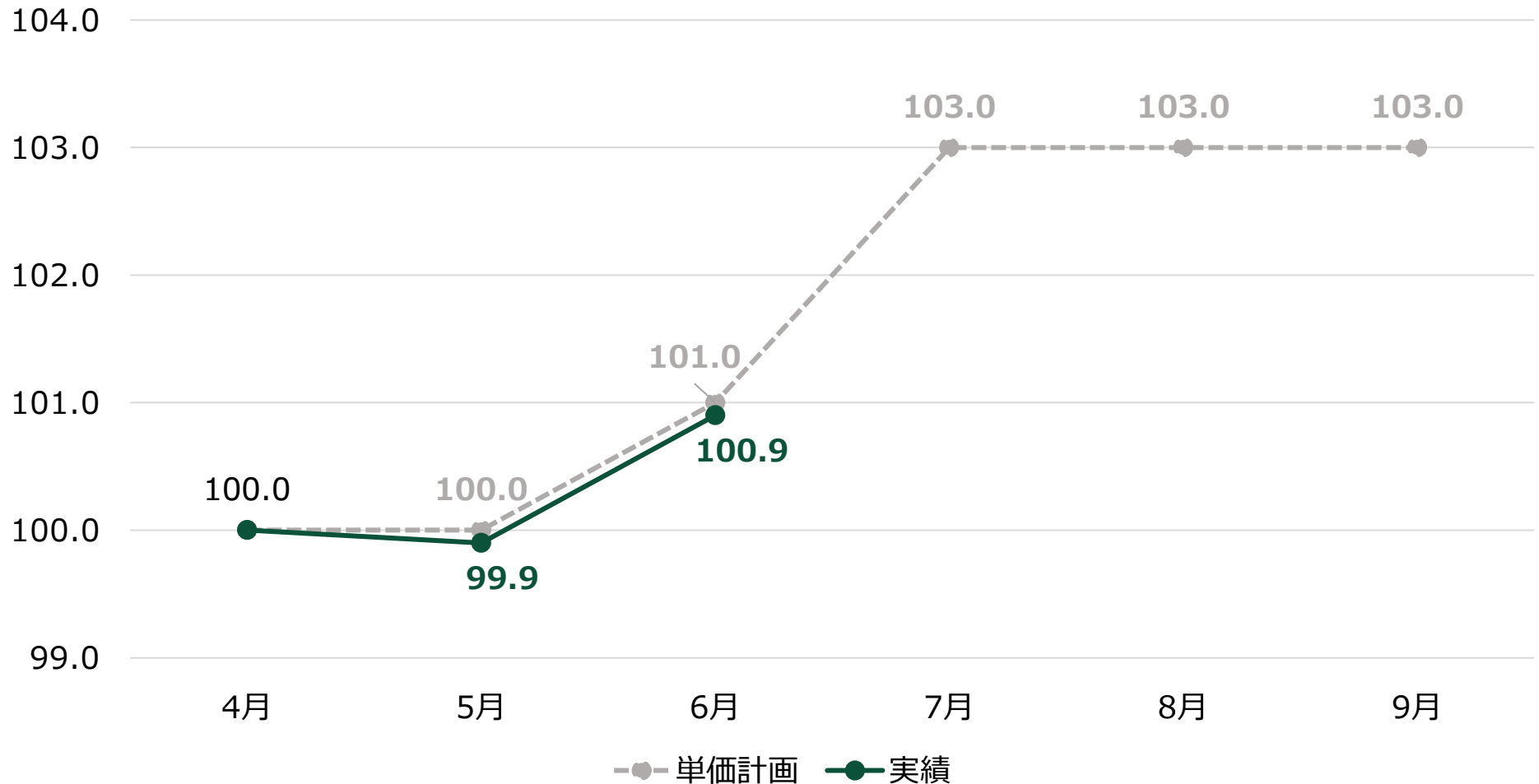
(前年同期比/単位：%)	トンキロ単価	個当り単価	Kg当り単価
全体	100.3	101.6	100.3

第2四半期以降も、“①低単価、②重厚長大、③長距離、④長期未改定、⑤高単価”の5つのセグメントに対して、①～④は適正運賃化、⑤はサービス強化と戦略高度化を継続

第1四半期の全体単価実績

単価改善の進捗と今後の見込み

上期の単価計画と実績



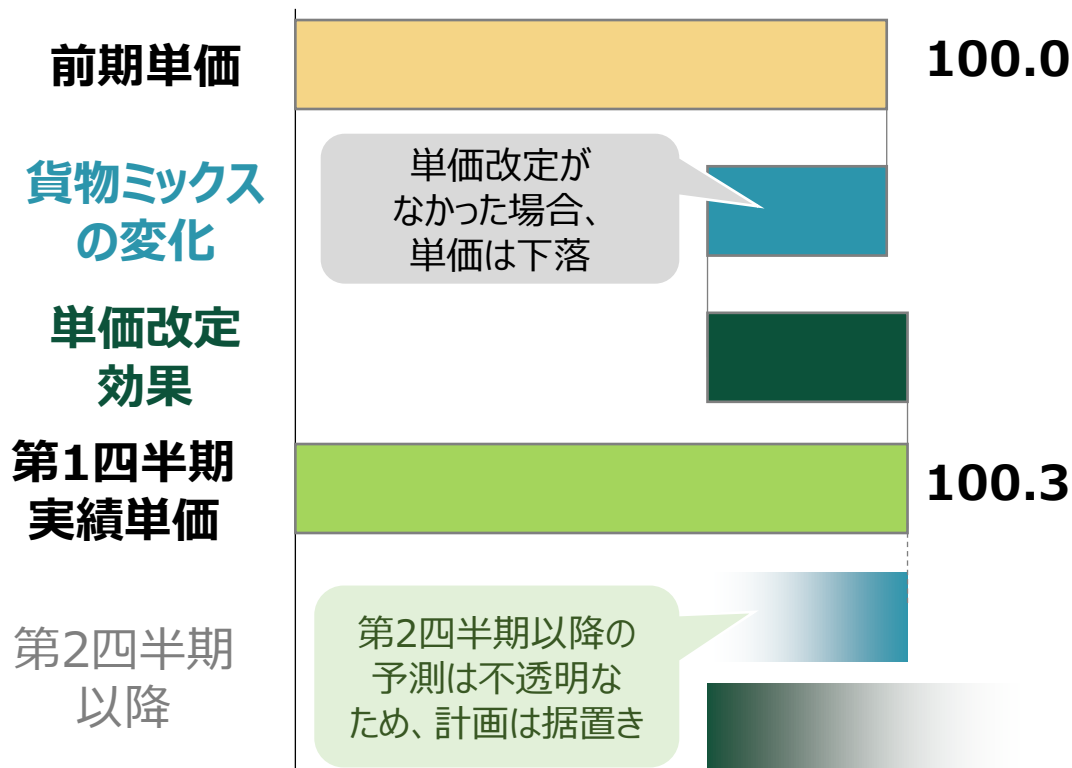
単価改善は概ね当初の計画通り進捗しており、7月以降も継続的に改善効果が見込まれる

単価改定により前期並みの単価を維持

単価の変動イメージ

貨物ミックスの変化を踏まえると、通常は平均単価が下落するところ、
単価改定（値上げ交渉）の効果により、前期並みの単価水準を維持

※単位はいずれも前期を100とする指数



運収ベースでは増収

**全体運賃の単価は上がっているため、
貨物ミックスの変化の中でも利益を確保**



貨物ミックス変化による単価下押し圧力を、単価改定で相殺
単価は前期並みの水準を維持、運収ベースでは計画達成

貸切事業

- 定期貸切便の運賃改定
- 他社システムとの連携強化に向けた体制整備
- 現場担当者同士の連携強化による貸切需要の取込み

貸切の顧客数・取扱件数増、
およびルート配送の
出荷増で増収

流通加工事業

- 適正料金改定の推進、重点改善店所の収益性改善
- 大口荷主獲得に向けた営業基盤構築
- 他社協業・DX推進でオペレーション高度化・生産性向上

前期開設センターの
安定稼働および既存荷主の
取扱拡大が進み増収

国際事業

- 国際運送の運賃改定による収益確保
- 国際利用運送の取扱量（TEU）拡大と基盤強化
- 通関業の料金適正化による収益性改善

新規顧客の獲得、
M&Aの寄与もあり、
輸送コンテナ本数が大幅
増加

貸切取扱件数

81,004
件

25年6月期

89,232
件

26年6月期

貨物保管料

+8.8%

25年6月期から
26年6月期 成長率

加工作業料

+6.6%

輸送コンテナ本数

4,512
TEU

25年6月期

15,492
TEU

26年6月期

流通加工事業のさらなる強化と事業領域の拡大を目的に、7月17日付で株式会社KYNネクストホールディングスの全株式を取得し、同社および傘下の株式会社チクブパッケージシステム、株式会社ベストロジサービスをグループ化しました。



福山通運グループの強み

- 全国約400拠点を網羅する強固なBtoB物流ネットワーク
- 小口輸送・倉庫管理・国際物流まで対応する総合物流サービス



チクブパッケージシステムの強み

- 流通加工・検品・梱包作業における高い専門性とノウハウが蓄積
- 食品・飲料・化粧品・医薬部外品など衛生管理を要する多様な加工に対応

期待されるシナジー効果

- 入庫→加工→保管→幹線輸送→ラストマイルまでの一気通貫型の高付加価値物流の実現
- チクブ社の加工ノウハウを福山通運拠点に横展開、全国の既存 & 新規顧客への新サービス提案

チクブパッケージシステム事業基盤

約30億円

売上規模

約570名

人員体制

社員70名 + パート500名

10拠点

首都圏の拠点網

相模原7・千葉2 + 本社

約7,000坪

物流拠点面積

相模原4,500 + 千葉2,500

- 当社は中長期的な企業価値向上に向け、株主・投資家の皆様との対話を重視しており、今年度は以下の通りIR活動を実施しております。

■ IR面談の実施状況（2026年度第1四半期）

対話実績： 計31社（国内外機関投資家様・アナリスト様 等）

主な面談形式： 個別面談

■ 主な対話テーマと当社の対応・見解

1. 中東情勢に伴う燃料高騰の影響や荷動きの変化について

→ 貸切事業者が扱う重厚長大荷物が当社特積みネットワークに流入している状況を説明

2. 運賃改定の見通しについて

→ 1Qは低単価の重厚長大荷物の物量増加により、全体単価の上昇が頭打ちとなっている状況を説明

3. 資本効率向上について

→ 政策保有株式・遊休土地の売却状況の進捗と、株主還元施策について説明

今後も対話を通じていただいたご意見を経営陣・取締役会へフィードバックし、企業価値向上に努めてまいります。



本資料は、当社グループの財務情報、経営指標等の提供を目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。
内容については、細心の注意を払っておりますが、妥当性、正確性、有用性について保証するものではありません。
将来の業績に関する内容が一部含まれておりますが、こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、様々な要因によって変動する可能性があることにご留意ください。
投資に関する最終決定は、ご自身の判断で行うようお願いいたします。当社としては一切の責任を負いかねますのでご了承ください。